

ニュースリリース

(H19-076)

平成20年2月4日

がんばれ！中小企業ファンドにおける出資決定について

中小機構は、ファンド出資事業において、主として鳥取県内企業への投資を行うファンドに対して、以下のとおり出資を決定しました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）は、新事業開拓促進出資事業（ファンド出資事業）において、「ごうぎんキャピタル㈱」を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、ファンド総額 5.0 億円のうち中小機構出資分として 1.75 億円を出資することを決定しました。

本ファンドは、地方に不足しがちなリスクマネーを供給し、地域経済の活性化、新事業展開を官民一体となって支援するもので、「とっとりキャピタル㈱」を無限責任組合員とする「とっとりチャレンジ応援ファンド投資事業有限責任組合（仮称）」と同じ時期に組成されるものです。

ファンド概要（添付資料参照）

チャレンジTONY投資事業有限責任組合（仮称）

- ・ ファンド規模 5.0 億円（うち機構出資 1.75 億円）
- ・ 無限責任組合員：ごうぎんキャピタル㈱

なお、中小機構では、中小企業地域資源活用プログラムに基づく地域資源活用コーディネート活動等支援事業、商談会及びアンテナショップ等の販路開拓支援事業並びに中小企業・ベンチャー総合支援センターにおける窓口相談、専門家派遣支援事業等中小機構の有する各種支援ツールを最大限に活用し、ファンドの投資先に対して支援していく予定です。

（本件に関するお問い合わせ先）

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 ファンド事業部
ファンド審査課 山地、能登
電話(03)5470-1673

(別紙)

チャレンジTONY投資事業有限責任組合(仮称)の概要

名称	チャレンジTONY投資事業有限責任組合(仮称)
準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律
運営主体	ごうぎんキャピタル株式会社
出資金総額	5.0億円
投資対象	主として鳥取県内に所在する中小企業、ベンチャー企業等
投資社数	15社程度
存続期間	10年間
特徴	本ファンドは、鳥取県及び山陰合同銀行を始めとする地域金融機関が出資する。地域公的支援機関と山陰合同銀行グループ等が官民一体となって入り口から出口までの一貫した支援を実施するとともに、中小機構中国支部との連携も図り各種支援ツールを積極的に活用する。これにより鳥取県の地域経済の活性化、雇用の創出等幅広い経済効果を目指す。

「チャレンジTONYファンド」スキーム

